

平成31年3月12日

足立区立千寿常東小学校
校長 加藤 敦彦 様

足立区立千寿常東小学校 開かれた学校づくり協議会

平成30年度 学校関係者評価書

1 自己評価書全般について・・・「学校評価アンケート」4段階

- ・ 今年度も「開かれた学校づくり協議会」の会議において、本校の現状と課題を視覚的に公開し、地域並びにPTA等に分かりやすく説明していただいた。特に今年度は、教育活動・施設設備ほか学校のすべてにおける内部評価を点数化するとともに、児童・保護者・教員の視点から分析し、よさと課題を的確に把握していた。

【重点事項1－学力向上】・・・平均2.7点

- ・ 学力向上については、個人差が大きく、日頃から多くの具体的な取組を行っている。国語・算数ともに一定の成果が見られているが、今後もこれまで同様、学校全体で取り組んでほしい。

【重点事項2－約束を守り、思いやる心の醸成】・・・平均3.1

- ・ 不登校もいじめも少なく学校は落ち着いて生活している。素直で優しい子供が多い。今後も、保護者や地域と連携を図るとともに児童の自己肯定感を高めるため、様々な地域行事（学園フェア、町会・自治会・住区センター等の行事）を継続して実施し、地域に生きる子供たちを育ててほしい。

【重点事項3－児童の体力を育てる】・・・平均3.0

- ・ 子供は元気で、たくさん遊んでほしい。学校のそういう方針には賛同できるが、体力の個人差も大きいことが分かった。今後も、近隣の保・小・中と連携した体力向上の取組に努め、耐性を育ててほしい。歯の処置率も上昇したということで、今後も怪我や健康面にも十分留意することをお願いする。

【重点事項4－異校種と連携した教育】・・・平均3.1

- ・ 地域にある学校として卒業生も多い。この地域の民度が高いということはやはり本校の子供たちが健全に育っている証左だと感じている。今後も、地域の学校として、近隣の保育園や中学校、大学と連携していくことは大いに望ましい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- ・ なかよし学級の子供への優しさが見られ、夢や希望をもち、自己肯定感や自尊感情が高いことはとても素晴らしい。ただ学力や基本的な生活習慣の二極化があるということなので、地域も可能な限り、家庭への支援に努めるとともに、町会・自治会等の様々な行事を通して、大人も子供も人とのつながりを大切にしていきたい。

3 その他

- ・ 毎回、夜間にもかかわらず学校の先生たちが分担して出席し、児童の情報や教育活動の状況を話してくれることが大変嬉しく励みとなるので、現会長の遺志を引き継ぎ、今後も継続してほしい。